

# 委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

## 企画総務

### 歳入(寄附金)

**委員** 指定寄附金という性質上、寄附金の部分を事業費に上乗せしない取り扱いはおかしいのではないかと。

**担当者** 寄附を特定の事業費に上乗せするには、負担付き寄附金という処理を行い、その寄附を受けることについて、一つの議案として、議会に提案をして、予算を計上す

る前に、議会の議決を得なければできないわけで、議決を得る前に、事業に上乗せしてやる、といった約束事を寄附者とするような、財政上の負担を伴う寄附については、予算よりも先に議会の議決を得るよう、定められています。

### 情報化対策費

**委員** 地理情報システムの基本検討作業の進捗状況は。

**担当者** 統合的な地図情報

の基本検討の段階が終了し、今年度は導入計画作成のため詳細な基本検討計画書の作成を予定している。統合的な地図を作成して、各部署で利用可能になるまでには、五年位の期間が必要だと思います。

### 財政事務費

**委員** 公共施設整備等基金積立金について、施設使用料の値上げ分が財源で、今後大規模修繕に使われていく、再度積み立てが必要になった場

## 文教生活

### 町田市印鑑条例の一部改正

**委員** 登録申請時に本人確認をする際の市長が認めた書類に、保険証は入っていないのか。

**担当者** 現在、規則及び要綱を検討中であるが、免許証、パスポート、そのほかに住基カード等を考えており、保険証については、必ずしも本人

確認のための文書ではないというところで、積極的に使っていくことについては、慎重に検討しています。

### 球場・コート費

**委員** 購入予定地内の野球場等を、暫定使用する場合諸団体はどこか。

**担当者** 軟式野球連盟、サッカー協会が中心に協議していきます。

### 委員

野球場、ラグビー場には観覧席がないが、作っていく考えはあるのか。

**担当者** 観覧席をつけることや、大きな試合ができる施設、球場にしていきたいという考えは市として持っています。都市公園の中というところから、若干の規制がされるのは当然であろうということ

### 生活安全対策費

**委員** 防犯カメラをつけてもプライバシーや人権が確保されるのか。

**担当者** プライバシー関係については、原則、非公開です。目的が、あくまでも犯罪を抑制する、予防するためであり、人を監視する目的ではありません。今後その運用については、プライバシーの部分については問題が生じないよう取扱いの基準、または必要事項を考慮しており、それを補助金の執行条件とし、万全を図っていききたい。

### 町田市国民健康保険事業会計補正予算

**委員** 拠出金が減額となっている背景と原因は。  
**担当者** 老人保健や介護の

合は、施設使用料の値上げ分が今後も充当されるのか。

### 町田市学童保育クラブ設置条例の一部改正

**委員** 一〇〇〇円値上げ分の予算の配分は、傾斜配分的な措置をすべきと思うが。

### 町田市保育運営費徴収条例の一部改正

**委員** 低所得の方の負担割合を低く、高所得の方の負担をその分引き上げたということ、C階層、D階層のパーセンテージはどのくらいか。

**担当者** 引き上げは、C階層は平均で六〇前後、D階層は最大で八〇前後、徴収しない方を含め全体として六〇

です。  
**委員** 未収の関係で、徴収をどのようにやっているか。  
**担当者** 滞納をつくらないような方法ということで、口座振替の推進。滞納になってしまった方については、額の多い方から多く連絡をとらせていただいておりますし、さらに差し押さえ予告等することにより納付を促すことも今進めています。

### 平成一五年度町田市病院事業会計決算認定

**委員** 給食調理、看護助手などの委託に伴う委託費の増減について伺いたい。  
**担当者** 患者給食関係が常勤八名とパート三名の減少で、人件費は約七二〇〇万円の減少、そのかわりに委託料が三三〇〇万円増加。看護補助関

### 健康福祉会館管理費

**委員** 空調の設計委託料は全館の設計のし直しか。  
**担当者** この三、四年を見ても、空調の修理に二八四万円かかっており、年間四万人を超える来庁者がある中で、一度全面的な改修をさせていただきたいと考えています。

## 都市環境

### 農業振興費

**委員** 農業振興事業補助金について、補助率が認定農業者は二分の一、それ以外の農家は三分の一となっているが、それ以外の農家とはどのような農家をいうのか。

**担当者** 専業農家で地場流通に乗って出荷している方を中心に認定農業者制度があり、八〇人程度の方を認定している。地場流通に貢献している意味で補助率を変えている。

### 資源化施設整備費

**委員** 数年前にも第二剪定枝資源化センターの設計委託料が予算計上されていたが、そのときの成果物と今回の成果物はどう違うのか。

**担当者** 前回の成果物ではクレイン方式を用いた点と建物全体の中にすべてのものを入れ込むという大規模な点が挙げられる。今回見直しを行

るようにも思われるが、この改修により今後一〇年程度は使用できるのか。  
**担当者** 部分的な更新は行ってきたが、今回は根幹部分の更新を行う予定である。従前は、八年から一〇年程度のスパンで改修を行う計画であったが、今後は根幹部分の改修については一〇年スパンで行うことは考えていません。

### 住居表示事務費

**委員** 町区域調査委託料について、今回は木曾町、能ヶ谷町、金森の三地域とのことだが、選ばれた理由は何か。  
**担当者** 木曾町については、忠生第二土地地区画整理事業が一八年度に事業完了を予定しており、能ヶ谷町についても、同様に鶴川北土地地区画整理事業が一八年度完了を予定しており、また、能ヶ谷東の区画整理もすでに完了している。金森については、従来から金森一丁目という町名はできていないが、他はできていない。また、面積も広いことから方向性を見いだしたいとの理由から選定しました。

平成一六年度分が確定したことで、当初予算より多くなる分を減額するものです。特に老人保健医療費拠出金については、今まで七〇歳から老人健康保険に移行していましたが、平成一四年度からは七五歳以降となり、国保へ五年間残りますから、療養費、医療費で国保が支払う分、老人保健が減額になります。